

2023年 10月 15日《角田裕美子姉召天一周年記念礼拝》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌687番「まもなくかなたの」～御手の中で～

主の祈り

聖書朗読 ヨハネによる福音書 11 章 20～27 節

特別映像 「ラザロの復活」(映画「The Gospel of John」より)

メッセージ 「永遠のいのちのすばらしさ」

石井 潤 牧師

献 金 「フットプリント」/「わが国籍は」(故人愛唱歌)

頌 栄 賛美「栄光イエスにあれ」

祝 禱

お知らせ [司会者]

証 し 小山美枝子姉

☆礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★本日は角田裕美子姉の召天一周年の記念の礼拝です。ご遺族の慰めをお祈り致しましょう!午後は12時半～小山哲兄の納骨式と秋の召天者記念礼拝を教会納骨堂前にて行います。(小牧フォーレスト霊園:上田市小牧堂平 1291)

☆今週の祈り会:○早天祈禱会、明朝6時。 ◎木曜祈禱会:①午前10時半(大和祈禱会ライブ映像)。 ②夜7時半。 ○準備祈禱会:土曜夜8時。

★木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

☆来週の日曜礼拝、司会:石井兄/祈禱:松岡姉。午後は聖歌隊の練習があります。

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [10/15- /22]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	イザヤ 29-32	33-36	37-39	40-42	43-45	46-49	50-53	54-58
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇

「永遠のいのちのすばらしさ」

～死後の世界にも希望がもたらされた！～

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」
「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか。」

ヨハネ福音書11章25、40節

イエス様は、友人ラザロが危篤であるという知らせを受けていたにもかかわらず、ラザロが死ぬまで、現地に向かいませんでした。普通なら考えられないことです。しかし、イエス様にとって、「死ぬ」という世界は友人との永遠の別れになるわけではないことをよく知っていました。

上記の言葉は、最愛の弟を失ったマルタに対するイエス様のお言葉です。彼女の周りには悲嘆に暮れる人々の集団が取り囲んでいました。もちろん、そのお気持ちもイエス様はよく分かっていました。しかし、その悲しみの向こうに、神様の御手があって、希望があることを知って欲しいと願って、希望を完全に失っている人々に対して、すべての悲しみ、苦しみの向こうにある絶対的な希望を示すために、死をも打ち破られる主イエス様の権威ある力を示されました。イエス様の宣言通り、ラザロは墓から出て来ました。死者が生者となったのです。

エントロピーの法則という法則があります。「宇宙は常に秩序から無秩序に向かって変化している」ということばに代表されるものです。つまり、形あるものはすべて形の無いものになっていきます。しかし、神様の法則は、その反対で、形の無いものが形あるものとされるという創造の世界です。エントロピーの反対で、ネグエントロピーの法則と表現できるものです。

イエス様はまさにその世界を実現できるお方であることを示しています。そのお方が、まず、御自身をお捨てになり、私たちの身代わりに、失われた者となってくださいました。それは私たち失われた者たちを救い出すために、自らを捨ててくださったということ。そして、私たちすべてを抱きかかえるかのように救い上げてくださったということでした。そして、私たちをご自身と共に死から命へと新しく造り変えてくださったのです。

私たちは自分で自分を永遠に救うことはできません。ですから、このライフセイバーである主イエス様に救い出していただく必要があったのです。私たちはこのお方の腕が確かであることを認めて、信頼しなければなりません。救いのプロフェッショナルであるお方を信頼して、助け出していただかなければなりません。

「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだら、豊かに実を結ぶようになる。」と言われて、惜しむことなく、自分自身を捨てられました。その結果、全人類の人々が神の命、絶対的な希望を持ってこの人生を生きることができるようになりました。

十字架の死と復活は必要不可欠でした。救いの道を造るために、すべての世界に光を届けるためです。死後にも希望があるということです。なぜなら、キリストは死の向こうにまで届く光なるお方であるからです。